



保育科 教授

樋川 隆 (ひかわ たかし)

Hikawa Takashi

自己紹介 (プロフィール)	山梨県庁で社会福祉専門職として社会福祉施設、児童相談所 (児童福祉司)、福祉事務所 (生活保護ソーシャルワーカー)、障害福祉課など、現場と福祉行政の仕事をしていました。これまでの経験を生かし児童虐待、児童相談所の機能を中心に、社会福祉全般の研究をしていきたいと考えています。ぜひ研究室に遊びに来てください。
学生へのメッセージ	2年間はあっという間だと思います。「2年間で何かする」よりも、「2年間の後何をしよう」を考える期間になるといいですね。大学生の期間は、人生の中で時間が自由に使える貴重なときです。自分とは違う人の存在を知ることや多くのことを経験する時間に充ててください。お手伝いできることがあればいつでもサポートします。
保有学位	修士 (公共政策) 山梨学院大学
保有資格・免許	小学校教諭一級免許状 中学校教諭一級免許状 (社会) 高等学校教諭二級免許状 (社会)
研究分野	児童家庭福祉 (児童虐待、児童相談所の介入論) 臨床社会学
主な担当科目	社会福祉 児童家庭福祉 相談援助 社会的養護内容 家庭支援論
学内での活動	生涯学習運営委員会 学外実習委員会 大学コンソーシアムやまなし企画運営委員会 地域連携研究センター運営委員会
学外での活動	山梨県社会福祉協議会 監事 山梨県医療社会事業協会 会長 山梨県中央児童相談所相談支援課スーパーバイザー
所属学会	日本社会福祉学会 日本家族社会学会 日本子ども虐待防止学会 ローカルガバナンス学会

主な職務実績（抜粋）

事項 (単独・共同)	年月日	概要
(職員研修会) 平成 18 年度山梨県中堅社会福祉専門職員研修会講師「山梨県の行財政改革と社会福祉専門職」(単独)	H18. 11	山梨県社会福祉専門職員中堅職員を対象に国と山梨県の行財政改革とその中での社会福祉専門職員のあり方について講義を行った。
(職員研修会) 平成 22 年度山梨県中堅社会福祉専門職員研修会講師「これからの社会福祉職員に求められるもの」(単独)	H22. 12	社会福祉基礎構造改革の検証、山梨県社会福祉と県における社会福祉関係予算の現状、新たな地域福祉の担い手と行政の役割について講義を行った。
(職員研修会) 平成 22 年度山宮保育所職員研修会講師「無縁時代の子育て支援」(単独)	H23. 2	保育士を対象に 2010 年 1 月に NHK が放送した NHK スペシャル「無縁社会～無縁死 3 万 2 千人の衝撃～」を題材に独自資料を作成し、無縁社会と言われる現代社会の中での子育て支援及び保育者との相談における支援方法、子どもの虐待についての講義を行った。また、講義後事例の相談と検討を行った。
(職員研修会) 平成 24 年度社会福祉施設現任職員研修会講師「児童虐待の現状と対策」(単独)	H24. 7	山梨県社会福祉協議会の主催で施設職員を対象にした研修会で児童虐待の現状について統計資料や国が実施した全国アンケート等を活用して講義を行った。また、講義の途中で対象者に対する観察力を高めるゲームを行った。
(職員研修会) 平成 25 年度社会福祉施設現任職員研修会講師「虐待を受けた児童の現状と対応状況について」(単独)	H25. 7	山梨県社会福祉協議会の主催で施設職員を対象にした研修会で児童虐待の現状についての統計資料を用いての講義と事例を活用した子どもへの対応の在り方を演習方式で行った。
(職員研修会) 第 49 回 関東ブロック児童養護施設研究協議会の分科会助言者(単独)	H25. 7	関東ブロック児童養護施設研究協議会における第 3 分科会「施設における人材確保・養成プログラムのあり方について」の助言者を行い、施設における人材養成のありかた、人材養成としての施設内のケース検討のあり方等について助言を行った。
(職員研修会) 平成 25 年度山梨県中堅社会福祉専門職員研修会講師「社会福祉の現状と課題、山梨県の状況」(単独)	H25. 9	山梨県中堅社会福祉専門職員にわが国の社会福祉の現状と今後の課題並びに山梨県の予算に見る社会福祉の現状と課題、新たな地域福祉の担い手と行政の役割について講義を行った。
(県民講座) 第 7 回 シリウス保育講座講師「子どもの健やかな育ちのために」～子どもの虐待を防ぐキーワード「無縁社会からの脱却」(単独)	H25. 12	子どもの虐待について、統計資料を用いて説明するとともに、山梨県の状況について説明を行った。また、「児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会」の第 9 次報告を題材に子どもに対する虐待防止に向けた方策を提起するとともに、社会のあり方について「緩やかな有縁社会」の創造を提起した。
(公開講座) やまなし学研究 講師「子どもを取り巻く環	H26. 9	少子化等子どもを取り巻く環境について、全国状況と山梨県を比較し、本県の現状を考察した。また、社会的養護の概念の説明を行うとともに、所在不明の子どもや被虐待児等について、全国的

境」(単独)		な統計資料や山梨県の資料等を用い現状を概観した上で、私たちが取り組み可能な対策について参加者とともに検討を行った。
(専門職員研修) 平成26年度日常生活自立支援事業生活支援員研究会講師「日常生活自立支援事業の概要及び生活支援員の役割」	H26.10 H26.11	日常生活自立支援事業に取り組んでいる支援員に、当該事業の成立過程と背景にある社会福祉理念、事業実施にあたっての基本的な対応態度について講義をするとともに、当該事業の実施における留意点等をグループ討議を踏まえ検討を行った。
(シンポジウム) 社会的養護フォーラム「社会的養護ってなに? 「子どもたち=未来」のために」 (共同)	H26.10	社会的養護に関わっている、施設関係者(乳児院、児童養護施設)、スクールカウンセラー、行政関係者による基調講演とシンポジウムを実施し、フォーラム全体のまとめを行った。
(議員研修) 第6回昭和町議会議員研修会講師「在宅高齢者の現状と課題」(単独)	H26.10	山梨県内の高齢者の状況と全国の状況を比較検討するとともに、山梨県が実施した高齢者の実態調査から、昭和町の状況を検討した。また、今後の高齢者施策として検討すべきことを提示して議員との意見交換を実施した。
(研修会) 第3回児童厚生2級指導員講習会講師「児童福祉援助技術総覧」(単独)	H26.11	現代社会における子どもの置かれた状況と子どもとその家族への支援に関わる相談援助技術、相談事例のまとめ方とアセスメントの方法についての講義と実技を行った。
(公開講座) 平成26年度山梨学院ともまなび講座(岡谷市)「子どもを取り巻く環境—子ども虐待の視点から—」講師(単独)	H26.11	わが国の子どもの状況について、被虐待児の状況に焦点をあて解説するとともに、長野県と山梨県との比較を試みた。
(研修会) 第8回放課後児童指導員研修会講師「地域福祉活動」(単独)	H27.2	地域福祉の概念と実際について講義を実施し、その後、地域福祉の対象となる事例の検討を、参加者とともに実施した。
(研修会助言) 平成26年度山梨県福祉専門職研究発表会助言者(単独)	H27.2	山梨県の社会福祉専門職員が実施する研究発表会において、発表内容、研究方法等について助言を行った。
(職員研修会) 平成26年度山梨県福祉専門職中堅職員研修会講師「山梨県の福祉政策の現状—政策・施策形成能力を高めよう—」(単独)	H27.3	山梨県の社会福祉専門職員に対し、新知事が掲げた公約を紹介するとともに分析を行い、今後の社会福祉行政における福祉政策のあり方について講義を実施した。また、併せて政策、施策の関係、具体的な施策づくりについて講義を実施した。
(検討委員・助言者) 「山梨県子ども虐待防止・対応マニュアル」及び「事例集」の編纂、助言(共同)	H26.4~ H27.3	「山梨県子ども虐待防止・対応マニュアル」「山梨県子ども虐待防止・対応マニュアル 事例編」の作成に関わり、執筆と全体の助言、監修を行った。

(研修会) 第1回児童厚生2級指導員講習会講師 (単独)	H27. 6. 3	放課後児童指導員、児童館及び児童厚生員等に児童の健全育成に関し概念、事業等について講義を行った。
(研修会助言者) 第52回関東ブロック群市区町村社協職員合同研究協議会第4分科会コーディネーター(単独)	H27. 7. 16	長野市で開催された第52回関東ブロック群市区町村社協職員合同研究協議会の第4分科会において研究発表に対する助言を行った。
(専門員研修会) 日常生活自立支援事業生活支援員研修会講師(単独)	H27. 8. 21・24	日常生活自立支援専門員に対し、ケース事例のまとめ方、事例検討の視点等について講義と演習を行った。
(研修会) 自治労関東甲地連「住民の健康と福祉を守る集会」の第7分科会の講師(単独)	H27. 9. 11 ~ 12	社会福祉法人改革についての講義と研修会分科会における助言者を行った。
(研修会) 放課後指導支援員認定研修会講師(単独)	H27. 11. 18	子ども家庭福祉の考え方、子ども・子育て新制度等について講義を行った。
(専門職員研修会) 山梨県社会福祉専門職応用研修会講師(単独)	H27. 11. 18	わが国と山梨県社会福祉施策の動向、子ども虐待対応に関する施策について講義を行った。
(研修会) 平成27年度市町村児童相談担当者実務研修会講師(単独)	H27. 11. 25	市町村の児童相談担当者に対しケースアセスメントに関する講義と演習を行った。
(研修会) 放課後指導支援員認定研修会講師(単独)	H27. 12. 18	子どもを理解するための基礎知識～特に配慮を必要とする子どもの理解～をテーマに貧困、虐待等を中心に講義を行った。
(研修会) 北杜市市民後見人フォローアップ研修講師(単独)	H28. 1. 28	北杜市の市民後見人の養成講座受講者にケースアセスメントについて講義と演習を行った。
(研修会) 民生委員・児童委員・市町村社協職員平成27年度相談援助技術研修講師(単独)	H28. 3. 11	相談を受ける際の技術に関する講義と事例アセスメントの演習を行った。
(シンポジウム) 山梨ゾンタクラブ主催のシンポジウム(共同)	H28. 3. 13	山梨ゾンタクラブが主催するローズデイイベントとして開催した「子どもの権利って何! 未来の日本を担う子どもたちの笑顔のために～里親サポート制度の現状と問題を知ろう～」にシンポジストとして参加。
(研修会) 一般社団法人山梨県社会福祉士会社会福祉士国家試験対策講座講師(単独)	H28. 10. 16	山梨県社会福祉士会の実施する社会福祉士国家試験対策講座において社会福祉士試験受験に対して「福祉行財政と福祉計画」の講座を行った。
(ラジオセミナー) 山梨学院大学ラジオセミナー講師	H28. 10. 2 (放送日)	全国と山梨県の児童虐待の実態を説明するとともに、虐待防止に向けた個人、地方自治体、児童相談所等の取り組み方法等について説明を行った。
(研修会) 第4回児童厚生2級指導員研修講師(単独)	H28. 10. 27	山梨県児童館連絡協議会が主催する研修会出席者に対して「集団援助技術(グループワーク)」について講義を行った。

(研修会) 放課後児童支援員認定資格研修講師 (単独)	H28. 11. 11	放課後児童健全育成事業の法的な位置づけ、役割、事業内容、放課後児童クラブの社会的責任、子どもの権利条約に見る子どもの権利や子どもの権利侵害である虐待について講義を行った。
(研修会) 放課後児童支援員認定資格研修講師 (単独)	H28. 11. 18	子ども家庭福祉の考え方、子ども・子育て新制度、子どもに関する基本的な考え方などを中心に、子ども家庭施策について講義を行った。
(研修会) 山梨県福祉専門職応用研修「制度政策力向上研修会」講師 (単独)	H28. 11. 22	山梨県福祉専門職員を対象に山梨県の社会的養護の実態について講義を行った。
(研修会) 放課後児童支援員認定資格研修講師 (単独)	H28. 12. 9	社会的養護の定義と現状、わが国及び山梨県内の児童虐待の実態、児童虐待の防止策、改正児童福祉法について講義を行った。
(研修会) 平成 28 年度家庭の養育力強化研修会講師 (単独)	H29. 1. 18	山梨県愛育連合会会員と山梨県の保健所担当者を対象に児童虐待の現状と虐待が発生するメカニズム、防止策、並びに地域の対応等についての講義とアセスメントの演習を行った。

主な教育研究業績 (抜粋)

著書、学術論文等 (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等	概要
児童虐待防止法をめぐって～子ども成長と人格の形成～ (単著)	H14. 4	神戸親和女子大学生涯学習センター紀要	「児童虐待防止法」が施行されたことから、同法の制定までの経過を概観し、同法上の「児童虐待」と「虐待」の定義の差について検討を行い、児童虐待の定義の拡大の必要性を指摘した。また、虐待の解釈には、地域性や文化性が背景として影響を与えていることについて検討を加えた。さらに虐待者である親と被虐待者である子どもの特質等についての検討を行った。併せて、地域の社会資源である児童・民生委員、主任児童委員に虐待防止策として具体的に期待する内容の検討を行った。
支援費制度における社会福祉パラダイムとソーシャルワーカーの役割～アドボカシー、リエゾンをキーワードとして～ (単著)	H15. 3	医療社会事業第 19 号 山梨県医療社会事業協会	1950年の社会保障制度審議会の初回勧告から95年勧告までを概観し、社会福祉基礎構造改革のもつ意味と今後のわが国の社会保障制度のあり方を、地域社会で活動するソーシャルワーカーの視点で検討した。また、社会福祉におけるアドボカシーとリエゾンの考え方について検討を加えた。
子どもの虐待と介入における「関係性」 (単著)	H15. 12	ソーシャルワーカー通信～山梨の医療と福祉～ 山梨県社会医療事業協会	全国で発生している児童虐待と山梨県内で発生している児童虐待の実態の検討を行った。虐待に介入する際に介入機関相互及び虐待者、被虐待者、支援者に「関係性」の視点が重要であることを確認し指摘した。
新社会福祉論 基本と事例 (共著)	H24. 11	学文社	わが国の戦後から今日までの社会福祉の歴史を山梨県の例も取り入れながら概観するとともに解説を行った。また、子どもの虐待や貧困問題など、最近の児童に係る課題等について指摘した。(第4章 2-5、6 担当 pp114～125)
子ども虐待防止・対応マニュアル (共著)	H26. 11	山梨県福祉保健部子育て支援課	山梨県における子ども虐待防止と対応におけるマニュアルを山梨県福祉保健部子育て支援課職員、山梨県中央児童相談所・都留児童相談所の児童福祉司とともに国の「子ども虐待対応の手引き」等を参考に新たに作成した。

子ども虐待防止・対応マニュアル事例編 (共著)	H27.3	山梨県福祉保健部子育て支援課	子ども虐待の第一義的な相談窓口が市町村であることから、市町村職員が児童相談所等の関係機関を活用しながら子ども虐待に対応することを想定しての事例づくりを山梨県福祉保健部子育て支援課職員、山梨県中央児童相談所・都留児童相談所の児童福祉司とともにを行い、対応別に11事例を掲載した。
社会的養護事例の研究(単著)	H27.3	山梨学院短期大学研究紀要第35集	社会的養護を理由として児童養護施設で生活した児童の退所後の生活についてヒアリングを行い施設入所中の支援のあり方、退所後の支援のあり方を分析した。支援の方向性として再統合、親と物理的・精神的に適切な距離をおく「距離化」のあり方等について検討を行った。また、事例分析の積み重ねの重要性について指摘した。
保育実践と家庭支援論(共著)	H28.1	勁草書房	わが国の子育て支援に関わる関係機関について、国、都道府県、市町村、民間それぞれのレベルにおいて説明を行うとともに、各機関による連携が重要であることを説明した。(第13章 pp119~126)
LD、ADHD & ASD 2017年1月号(共著)	H29.1	明治図書	発達障害のある方及び保護者に向け、成年後見制度の概要についてQ&A方式わかりやすく解説を行った。「発達障害のあるかたの権利や財産を守る成年後見制度や日常生活自立支援事業」(pp18~21のpp18~20を担当)

YGJC201705101310